

3. 館別独自項目チェックリスト

自然の博物館
評価基準

完了または順調に進捗している問題がない状態	A
着手状態乃至課題が残されている状態	B
未着手状態	C

項目	チェック内容		評価(A~C)	備考
存資・料管理の理保	①	収集した資料を適切に管理しているか	B	収蔵スペースの確保が課題であり、資料の再整理による効率的な収蔵や、収蔵棚増設などを検討していく必要がある。
	②	手順に基づいて適切に標本化しているか	A	各分野ごとに実施
展特事業の・実企画	①	中・長期的な展示計画を策定し特別展・企画展を実施しているか	B	各展示のコンセプトが担当内の理解に留まり、館内での共通理解による戦略的な展示計画となっていない。広報に活かされていない等の課題がある。
	②	幅広い年齢層やニーズを持った来館者が楽しめる内容になっているか	A	幅広い利用者層に応える展示を企画している。
	③	従来の資料のほか新しい資料や借用資料など広い範囲の資料を活用しているか	A	他博物館からの資料借用や製作など
業に自然した分野を支援する事業	①	体験を通じて自然を学ぶプログラムを取り入れているか	A	自然史講座、観察会等
	②	実物資料を十分に活用したプログラムとなっているか	A	自然史講座、観察会等
	③	専門性を含めた県民のニーズにこたえられるプログラムを実施しているか	A	難易度の異なる講座設定
	④	博物館や周辺の自然を活用したプログラムを実施しているか	A	岩畳・虎岩の解説等
活中県内施設と連携した博物館	①	全国の博物館等の自然科学系分野の活動に協力しているか	A	国立科学博物館のGBIF
	②	県内の公共施設が行う展示・企画に協力しているか	A	熊谷図書館イベント、文書館共催
	③	職員の専門分野を活かして専門的な知識を情報発信をするとともに、レファレンスに的確にこたえているか。	A	電話・来館・メール対応
	④	行政等の文化財保護(天然記念物)・自然保護に関する組織の調査に協力し、専門的な立場から指導・助言を行っているか。	A	県希少野生動物種検討委員会等への協力
館た地と自然を根ざした活動	①	ジオパーク秩父における拠点施設として適切な役割を果たしているか	A	普及・学術面でのサポート
	②	県内の外部研究者・市民科学者と情報交換等の交流を行っているか。	A	外部研究者登録制度受入れ
	③	県内の自然史に関する研究資料を収集・保存し、公開しているか。	A	展示及び研究報告